

防災計画に基づく訓練・研修会

新豎町地区町会連合会

目的

3年度に策定した新豎町地区防災計画に基づく研修会と訓練を実施するもので、研修会では避難のタイミングのマイタイムラインについて学習し、訓練では、避難所資機材取扱い訓練を実施することにより、地区住民の防災意識を高めるだけでなく、防災資機材の取り扱い等を訓練することにより避難所設営に万全を期すことを目的とする。

概要

3年度は、防災研修会、訓練と学習会の3本立てで実施した。

- 研修会は、地区住民と町会長を対象に2回の「マイタイムライン研修」を実施。
- 訓練は、防災倉庫の資機材の取り扱いを学ぶことにより災害時の避難所開設の知識を学ぶ。
- 学習会は、地区住民を対象に新豎町地区の災害特性を学ぶことにより、防災意識を高める。

実施スケジュール

時期	内容	場所	備考
7月30日	マイタイムライン研修 地区住民対象28名参加	新豎町公民館	講師 竹田雅子防災士
8月24日	マイタイムライン研修 町会長会35名参加	新豎町公民館	講師 竹田雅子防災士
11月12日	防災資機材研修会 防災士、防災対策委員会	旧新豎町小学校	講師 危機管理課職員
12月2日	まちづくり学習会 地区住民対象25名参加	新豎町公民館	金沢大学 青木賢人 准教授

事業の運営体制

役割	人数	備考
事業企画	11人	防災対策委員会委員
当日運営	18人	防災士、町会連合会役員

事業実施にあたり工夫した点など

- 参加者のマスク着用、体温測定などの新型コロナウイルス感染対策を講じた。
- 「避難」をメインテーマに研修会、訓練、学習会を行った。
- 研修会は、対象を地区住民と町会長に分けておこなった。
- 訓練では2班に分けて訓練の効率化を図った。

事業の成果

• マイタイムライン研修会を行うことにより、避難のタイミングの大切さ、近所へのつながりの重要性を学ぶとともに、町会長には町民の避難のタイミングの重要性の認識の一助になった。

- 訓練は、避難所開設時の資機材の取り扱いに学ぶことができた。
- 学習会では、新豎町地区の災害の特性を学ぶことができ、改めて地震対策の重要性を認識した。

課題や今後の展望など

- 旧新豎町小学校に仮設校舎が立っているので、土嚢訓練、消火訓練など訓練が実施できないため、それまでは机上や避難所開設、避難所レイアウトなどソフト面での訓練を重ねていくことで、地区住民の防災意識を高める。

■ マイタイムライン研修会



■ 防災訓練



■ まちづくり学習会

